

子ども医療費助成制度

質問者 鈴木 節子 (共産党)

県が実施する高校生世代への医療費助成について、対象としていない本市も実施すべきと考えるがどうか。また、実施するために県に対して補助金を要望すべきと考えるが、市はどのように対応していくのか。

【答弁】 高校生世代対象の医療費助成制度は、高校生世代の中には就労している若者もいること等から現行の中学生までを対象とした制度とは異なるものである。そのため、制度設計や財源確保などの課題の解決策を検討したうえで、総合的に判断し、対応していきたい。県への補助金の要望に関して、子ども医療費助成に対する県から市への補助金は廃止されたが、高校生世代までの助成拡大はこの範囲を超えたものであるため、今後、浜松市と連携しながら県と協議を行っていききたい。

生涯学習施設の利用方法見直し

質問者 望月 賢一郎 (共産党)

静岡市生涯学習推進審議会からの生涯学習施設の利用方法の一元化が望ましいとの答申を受け、今後どのような見直しを行うか。

【答弁】 現在、本市の生涯学習施設には生涯学習センターと生涯学習交流館があり、利用申請や施設使用料など利用方法が異なっている。答申を受け、利用の一体性の確保や負担の公平性の観点から、見直しの方策として次の3点を考えている。①施設種類ごとに異なる利用者団体区分を見直し、利用申請開始日を区分ごと統一、②安心、快適に利用できる施設を維持するため、利用者負担の考え方に基づく施設使用料の設定、③まちづくり活動の支援・発展のため、自治会、町内会等のまちづくり活動による施設利用の全市無料化。なお、見直しに当たり、市民、施設利用者の皆さんに丁寧に説明し、理解を求めていく。

通話録音装置の普及促進

質問者 大石 直樹 (公明党)

高齢者の消費者被害の未然防止には、高齢者が迷惑電話や不審電話などを受ける機会を減らすことができる通話録音装置を設置することが有効であると考えているが、普及促進のため、今後どのように事業を展開していくか。

【答弁】 本市では、機器普及による高齢者の消費者被害の未然防止を目的に通話録音装置等普及促進事業を実施している。今後は、悪質商法被害防止のための啓発活動を行うハナミン劇団の公演等を通じ、通話録音装置の設置効果を広く発信し、機器の普及を更に図っていく。また、高齢者は機器の取扱いに不慣れであるため、電機商業組合などに対し、機器販売時の操作方法の丁寧な説明を依頼するとともに、警察等の関係機関と連携し、特に悪質業者に狙われやすい高齢者に向けた機器の設置促進に取り組んでいく。

放課後等デイサービス

質問者 長島 強 (公明党)

放課後等デイサービスの利用申請に当たって必要な障害児支援利用計画を作成支援する障害児相談支援事業所が不足しているが、今後どのように整備していくのか。

【答弁】 障害児相談支援事業所への参入が進むよう、報酬体系の見直しや相談支援専門員として従事するための要件となる研修の拡充を国に要望している。障害児相談支援の充実については、29年度策定の静岡市障がい者共生のまちづくり計画において、今後検討すべき課題の一つとして明記し、継続的に取り組むこととしている。具体的には、障害関係団体や事業者、その他福祉、医療、教育、雇用等幅広い関係者で構成する障害者自立支援協議会に小部会を設置し、支援体制整備に向けた方策等について協議していく。

語句説明

静岡市生涯学習推進審議会

生涯学習に関する施策について広く市民の意見を求め、総合的かつ効果的な推進を図るために設置する、学識経験者及び市民委員で構成される審議会。

語句説明

障害児相談支援事業所

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障害児の自立した生活を支え、障害児の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援する。

語句説明

通話録音装置等普及促進事業

65歳以上の機器購入者に対する上限1万円の購入費補助。

中小企業振興基本条例制定の取組

質問者 杉本 護 (共産党)

条例制定に当たっては、中小企業等への実態調査による要望や課題の把握と関係団体や市民から成る検討会の設置が、また条例制定後は、様々な関係機関で施策を検討・提言する会議の設置が必要と考えるがどうか。

【答弁】 市内の経済団体・産業支援機関との日頃の様々な事業の実施を通じた意見交換により、中小企業者の要望や課題の把握に努めているとともに、景況調査や職員の企業訪問により情報収集にも努めている。また、パブリックコメントを通じて市民の皆さんからの意見を聴取していく。条例制定後は、効果的な施策推進のため、静岡市産業活性化懇話会や静岡商工会議所との行政連絡会など、様々な機会を捉え、中小企業者を支援する関係者から意見を聴取していく。

草薙駅北口周辺の国道横断対策

質問者 寺澤 潤 (自民党)

文教地区として賑わう草薙駅北口における、国道横断の交通環境課題に対し、市は30年度、どのように取り組んでいくか。

【答弁】 国道横断について、常葉大学開学までにアクセス道と国道1号の草薙交差点に、横断歩道増設や信号機設置等の改良を行った。その効果を検証するため、大学関係者や警察と朝のピーク時における混雑状況の確認や、歩行者などの変動を定量的に把握するための交通量調査を行った。これまでの調査結果を踏まえ、30年度は、横断施設の最適な位置、形式の選定、基本的な構造の検討などに取り組む。検討に当たっては、地元自治会、学校関係者等で組織する「国道横断あり方研究会」で意見を伺うとともに、国や警察、地権者等とも協議、連携し施設計画案を作成していく。

大浜公園プール再整備

質問者 宮城 展代 (自民党)

駿河区最南端のランドマークである大浜公園プールの再整備に伴う有料化及び公園の通年利用について、どのように考えているか。

【答弁】 大浜公園プールは開設から約90年が経過し、施設の老朽化によるサービスの低下や多額の維持管理費などの課題を抱えていることから、再整備を行っていく。本市では、受益者が特定される公共施設については、行政サービスの公平性を図るため受益者に適切な負担をいただくことを方針としており、再整備後はプール利用者に維持管理費の一部を負担いただきたいと考えている。通年利用については、駿河湾を望む素晴らしいロケーションに恵まれ、砂浜や広場が隣接するなど新たな利活用が期待できることから、年間を通じて利用していただける魅力的な公園づくりを目指す。

語句説明

静岡市産業活性化懇話会

本市の産業振興について大所高所に立った意見を求めるための、経済事情に精通し広い視野を持つ外部有識者や企業関係者から成る懇話会。

会派名

- 自民党＝自由民主党静岡市議会議員団
- 志政会＝志政会
- 公明党＝公明党静岡市議会
- 共産党＝日本共産党静岡市議会議員団
- 山と町＝「山と町」安全の会
- 緑の党＝緑の党グリーンズジャパン

長田北地区の公園整備

質問者 池谷 大輔 (自民党)

長田北地区の自治会が市営向ヶ岡住宅跡地への公園整備を要望しているが、市は公園整備候補地として、どのように考えているか。

【答弁】 当該候補地については、平成22年度に地元自治会から要望を受け、公園整備の可能性の検討を開始した。当該候補地は長田北地区のほぼ中央部に位置し、敷地面積は身近な公園の標準的規模の2倍以上あり、レクリエーションや子育ての場などの日常的利用をはじめ、様々な地域活動にも活用できると考えている。これまでに当該候補地では、敷地の一体的な活用を図るため、市道を整地し、暫定的に広場として利用してもらっている。30年度には、用地調査や関係機関との協議を進め、3年後の2021年度の完成を目途に、公園整備に取り組んでいく。

長田支所の市民サービスの拡充

質問者 島 直也 (自民党)

人口約6万4千人を擁する長田地区の規模に対し、長田支所で取り扱う窓口業務は一部に限られている。長田支所の市民サービスを拡充すべきと考えるがどうか。

【答弁】 長田支所は駿河区役所の窓口業務の一部を補完する役割を担っているが、マイナンバー制度の進展に伴う証明書のコンビニ交付サービスの普及や手続きの簡素化が進んでいること等、区役所の市民サービスを取り巻く環境が変わりつつある中、支所に求められる役割や機能は今後変化していくと考えられる。このような社会環境の変化を見極めながら、約6万4千人の人口規模を持つ地域の支所のあり方について、市民ニーズや利用状況等を把握した上で、費用対効果を踏まえ、検討を行っていく。